



第1回学校運営協議会を開催しました！

5月24日（金）今年度第1回目の学校運営協議会を行いました。

袋井市では、すべての学校において学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を取り入れています。学校運営に地域の声を積極的に生かすこと、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことが期待されています。

法律に基づいて設置している学校運営協議会の主な役割は以下のとおりです。

- ・ 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
- ・ 学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べるができる
- ・ 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について教育委員会に意見を述べるができる



協議会に先立ち、委員の皆様には、本校の実態を御理解いただくために、授業の様子、子供たちの様子を参観していただきました。授業では、一人一台端末を使いこなして学ぶ子供たちの様子が驚かれていましたが、協議会では、スクリーンタイム（子供たちが端末を利用している時間）がどれくらいになってるのか、子供たちの健康面での負担も話題になりました。

運営協議会では、校長から学校運営方針について説明しました。始業式で子供たちに、PTA 総会で保護者の皆様にお話しした同じ内容を委員の皆様にも説明し、承認をしていただきました。

様々な教育活動や環境整備などで支援して下さる「こしんでんサポーター（ボランティア）」も話題になりました。今年度、募集のおたよりで6人の保護者の皆様新たに登録していただきましたが、支援の輪を広げていくための周知方法について様々な意見が出されました。地域の宝である子供たちの教育に、地域の皆様の知恵と力をお借りしたいと思っています。興味のある方は、ぜひ学校に御連絡ください。

募集しているボランティア：校外学習活動時の見守り活動、読み聞かせ、家庭科の裁縫・ミシンの授業での支援、樹木の伐採・花壇の手入れなど

5月を振り返って・・・

連休明けに諸井の里山で実施した「一年生を迎える会」がずいぶん前のことのように感じられます。あっという間に5月が終わろうとしています。1年生の子供たちも学校生活のリズムにすっかり慣れ、新しい友達もでき、生き生きと学校生活を送っています。わずか2か月ですが、子供たちの成長を感じます。

子供たちも職員も「相手を大切にしたい聞き方」「相手に届くあいさつ」「いじめのない学級・学校」を「東小の文化」にしようと意識しています。

そのために何ができるか、子供たちが考え、行動する姿も見られるようになりました。青空委員会の子供たちは、月、水、金曜日の登校時に、正門であいさつ運動を行っています。その姿に刺激を受けた2年生は、元気っ子広場でのあいさつ運動を始めました。毎朝、子供たちの元気なあいさつの声が響いています。また、登校時の正門では、丁寧

にお辞儀をしてあいさつする子、顔を上げ、しっかり目を見てあいさつをして通っていく子もたくさんいます。

しかしながら、

あいさつ運動以外の場面でのあいさつには課題があります。例えば、校外学習に出掛けた際、訪問先の方々や地域の方々に自分からあいさつができる子供は多くありません。校長には、正門でしっかりあいさつをしている一方で、ガードボランティアさんへのあいさつは今ひとつという子供もたくさんいます。あいさつは、いつでも、どこでも、だれにでも、自分からできるのが理想です。あいさつには、人を幸せな気持ちにさせる力があると思います。本校の子供たちが、校内外でたくさんの人に幸せな気持ちをもたらす存在であってほしいと願っています。

「相手を大切にしたい聞き方」「いじめのない学級・学校」についても、子供たちと一緒に考えながら取り組んでいるところです。意識して取り組んでいることがやがて習慣となり、子供たち自身が誇らしく思える東小の文化となっていくことを期待しています。

6月11日(火)は、「子ども見守り強化の日」です！

6月と10月の11日が「子ども見守り強化の日」に制定されました。「11(ひとびと)の目で子どもの安全を守る」という語呂合わせから、この日が選ばれたそうです。

子供を見守る「目」を増やすことで、子供の安全を確保することを目的としています。子供たちの下校時間帯における見守り活動・パトロール活動への御協力をお願いします。散歩しながら、庭の水やりをしながら、お家の前の掃除をしながら・・・など、「ながら見守り」でも十分に効果があります。

下校する子供たちのことを気にかけて、見守りながら「おかえり」「こんにちは」などの声を掛けていただくと幸いです。

